
大きな手

樺井ロビン

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

大きな手

【Zコード】

N4087BA

【作者名】

櫻井ロビン

【あらすじ】

ライブ楽しかったのカボチャのロビン

昨夜のライブは楽しかった。

バーのお兄ちゃんはギターで、常連さんがベース。
と、いうか、お密さんと店の人という関係を超えた
バーなので、観客もかなり顔見知り。子供もたくさん来ていて
背の高いお兄ちゃんに高い高いをされ軽く2メートルは
持ち上げられて、目を回していた。

お兄ちゃんのバーには入りきれないくらいの多くの人に弔念できた。
他のバンドのロカビリーに合わせて踊りまくるみんな。
すごい陽気で、めちゃめちゃ楽しかった。

そんな中、ロビンはお兄ちゃんに「これから会つたら一度はロビンと
呼んで…」と強要してた。だってロビンはロビンと呼んで欲しいん
だもん。

お兄ちゃん、「店内だけやろ?」って「うから、ビリで会つても
ビリく遊びに行つても「ロビンでよしき」と言つて、苦笑して
「よしき、ロビン」と言つて、その大きな手でロビンの頭をなで
たようだ。

よつだ、ところのや、30センチはあるような大きな手は、
まるでロビンの頭を丸々にぎつたかのようだ、
ロビンも片手で握られたかカボチャみたいな気がしたから。
エキドキよつ、ウルウルきた。

一人でがんばつて生きているカボチャよつ、頭を「よしき」され
ると

ホッとして、ほろつとぐるもんなんだよ。

お兄ちゃんは、みんなのもの。常連さんやファンの女性や、子供た
ち、みんなに
愛される存在。だから余計に、つれしかつた。みんなの「大きな手」
によしよし、と

なでられたような気がした。ありがとう、みんな。勘違いでも、ありがとうございます。

これが書きたくて、急いで帰ってきたロビン。かわいい？ でしょう！ 笑

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4087ba/>

大きな手

2012年1月10日20時54分発行